



◀ 椿の里「飛島」にようこそ！

椿の里「飛島」では3月26日、今年で3回目となる「飛島つばき祭」が開催されました。

参加者は、島に古くから伝わる椿油の採取方法と搾り器による2種類の行程を見学したり、島に自生する椿の花を見ながら島内散策をしたりしました。昼食では、飛島名物の手打ちうどんに舌鼓。焼きカキやジャムなどの販売も行われ、多くの人たちが特産品を買い求めていました。

また、お昼からは、地元コーラスグループによるステージや、幼稚園児のお遊戯、小中学生の「ソーラン節」などが披露され、飛島の魅力たっぷりの一日となりました。



▶ 百歳おめでとう

3月18日、県と市は百歳の誕生日を迎えられた小川増一さん(馬飼)を訪問し、記念の羽毛布団や吉備焼のつぼなどを贈りました。

小川さんは、かつては農業を営み、乳牛も飼っていたそうで、最近では趣味として洋ランなどの園芸を楽しんでいます。小川さんの長寿の秘けつは「何事にも熱心に取り組む」こと。
小川さん、いつまでもお元気でいてください。

◀ 新たな決意を胸にして学び舎を後に…

3月18日、市内の小学校で卒業式が行われました。

金浦小学校では、54名の生徒が学び舎を後にしました。原田 繁校長から「人生80年を1日に例えると、12歳は夜明け前の午前3時半頃です。これからが本当の自分自身の味を見つける時期です。個性という味を見失わないでください。」とはなむけのあいさつ。卒業式後には、6年B組の生徒27人が校庭に、未来の自分への手紙などを入れたタイムカプセルを埋めました。このタイムカプセルは、13年後の1月2日10時に掘り起こすことになっています。



▶ 永年の功績を称えて

3月24日、市長室で消防庁長官等表彰伝達式が行われました。表彰を受けられた皆さんは次のとおりです。(敬称略)

《消防庁長官表彰》

褒章：笠岡市消防団 ◆ 永年勤続功
労章：守屋映男、榎平一平

《日本消防協会長表彰》

功績章：山部正道、守屋博正 ◆ 精
績章：奥野俊征、井本瀧雄 ◆ 勤続
章：奥野俊征、小川浩二、広恒利教、
渋谷 清、高橋 徹、小野勝由、
河田保孝、柳本一重、湯場隼雄

《県知事特別表彰》

笠岡市消防団

